

日本産業衛生学会

第50号 平成25年11月20日

産業医部会会報

公益社団法人 日本産業衛生学会 産業医部会事務局
〒160-0022
東京都新宿区新宿1-29-8 公衛ビル内
TEL 03-3356-1536
FAX 03-5362-3746
e-mail:sanei.4bukai@nifty.com



産業医部会に期待する

日本産業衛生学会理事長
圓藤吟史

産業衛生協議会は倉敷労働科学研究所所長の暉峻義等の呼びかけで1929年に設立されました。鯉沼茆吾は当時のことを「労働者の保健を担当する医師が多くの難問に直面し、その解決に苦心していたことは想像にあまりあることであるから、労働の科学的研究を主目的とする研究所が中心となって、産業医学上の諸問題を検討する会を作るということはまことに時を得た企てであって、創立総会に全国から集まった同志が87名にのぼったというのももっともであろう。これら会員の多くは当時の各種産業における医療担当者である」と書いています。

創立当初は社会局長官諮問が議題となり、協議の結論が答申となって公表され、その解決的方策が労働衛生行政に反映する結果を生んでいました。協議会設立から84年を経て、公益社団法人日本産業衛生学会へと発展し、現在7612名の会員を擁しています。約100倍の会員の擁する今日においても、内外に、産業保健上の課題に対する解決的方策について提言を行うことが求められていると考えています。

学会は1965年の日本産業医協議会設立を経て、1991年に産業医部会を設立しています。産業医部会は、産業看護、産業衛生技術、産業歯科保健の各部会とともに、産業医・産業看護全国協議会を企画運営し、学会創立当時の理念に依って“産業医学上の諸問題”を検討しています。さらに医部会員は各委員会、各地方会などで指導的役割を果たし、学会の内外で活躍されています。

医部会員の多くが各種産業の産業医であるところは84年前と同じです。わが国の労働者数5600万人に対し、産業保健サービスを提供することのできる産業医は8~9万人、学会の医師である会員が3740人、それらの数に比べて、医部会の会員数887人は適切な数でしょうか。産業保健での解決すべき課題は山積みと思われまます。医部会並びに医部会員にはリーダーとしてこれらの産業保健上の課題を担い解決することが期待されています。多くの産業医に医部会への参加を促し、機動性実効性のある部会へとさらなる発展を期待しております。